第一新聞

発行所
第一未来館
Tel:088-655-5001
第165号

年始のあいさつに代えて

新しい年がはじまると、世界の空気がほんの少しだけ入れ替わったような気がします。朝の冷たい空気のなかを歩いていると、どこか遠くで見えない時計が静かに時を刻んでいる音が聞こえるような、そんな気配です。もちろん、それは錯覚かもしれません。でも受験を控えているみなさんにとって、この季節の空気の質感は、たぶん語りかけているはずです。「そろそろ仕上げの時期だよ」と。

年が変わると、人は自然と自分を振り返ります。机の上に積み重なった参考書やノート、模試の答案用紙の束。そこには、少なくとも昨年よりずっと多くの時間と集中と、ちょっとした挫折のかけらが詰まっています。勉強なんて、たいていは地味で、ひとりきりで向き合う作業です。でも、その地味さの積み重ねが、自分のなかに目に見えない強さをつくっていきます。ゆっくりと、しかし確実に。

この時期になると、不安とか焦りとか、そんなものが胸の中でざわざわと音を立て始めます。誰にでもあります。それはまるで、冬の海辺に立ったときに聞こえてくる波の音みたいなものです。もしざわつく気持ちに出会っても、無理に追い払う必要はありません。波は波としてそこにあり、あなたはあなたとして、ただ前を向いて歩けばいいのです。そうすれば、その音はいつか自然に遠ざかっていきます。

生活のリズムを整えることも大事です。夜遅くまで机に向かうのも悪くありませんが、できれば朝の静けさを味方につけるほうが効率はいいでしょう。温かい飲み物を一杯用意して、窓の外の空を眺める、その数十秒だけで、頭のスイッチがすっと切り替わることがあります。人間の心というのは案外、シンプルな合図で動き出すものです。

試験本番の日が近づいてくると、どうしても「うまくやらなきゃ」と肩に力が入ります。でも、試験というのは案外、料理に似ています。難しく考えすぎると、余計な味が混ざってしまうことも。必要なのは、これまで練習してきた手順を淡々と、誠実にやり遂げることです。わからない問題に遭遇したら、「そういうこともあるさ」と軽くうなずいて、できる問題から手をつけていけばいいのです。

受験という経験は、あなたの人生のすべてではありません。でも、今のあなたが全力で向き合っている現実であり、その時間のなかで手に入れた集中力や粘り強さは、これからの長い道のどこかで必ず役に立ちます。人は、ある時期に本気で何かに取り組んだという記憶を、意外なほど長く持ち続けるものです。

新しい年の入り口に立つあなたへ。ここから数週間、世界は少しだけあなたの味方をしてくれるはずです。冷たい空気も、静かな朝も、机の上のペンの重さも。どうかそのすべてを味方につけて、自分のペースで歩き続けてください。あなたの努力は、必ずどこかへ届きます。静かに、しかし確かに。応援しています。

（宇都宮先生）

ゼミ中学部だより（1月）

２０２５／２６年冬期講習会に突入し、中学生の皆さんは今までの総復習をしっかりしてくれていることと思います。そして冬休み明けからの３か月間は、１年間の総まとめや、次年度からの足つけ学習をする大切な期間となるので、おろそかにはできない期間となります。冬期講習会で使用した各教科のテキストをきちんと復習して、日々の学習に抜かりの無いようにしておいて下さいね。

また、附属中・公立中の中１生と中２生の皆さんにとっては、２月中旬に徳島県一斉の基礎学力テストがあります。特に中２生の皆さんは中３生になる前に高校進路を具体的に考えていくための参考資料ともなるので、本気で挑むようにしましょう。中１生の皆さんは、まだ時間があるとは思わず油断しないようにしてください。高校入試まですぐそこですよ。

一方で城ノ内中生や文理中生の皆さんは、冬休み明けに実力テストが控えているので、同じようにしっかりと準備をしておきましょう。また、普段の授業スピードが比較的早目であるため、学習の理解が追い付いていなかったり、消化不良を起こしていたりするところがあるでしょう。この冬休みに、しっかりと学習の積み直しができていることを期待しています。

同じく中３生の皆さんにとっても、冬休み明けにいよいよ第３回基礎学力テストがあります。今回の冬期講習会で３年間の総復習をしたり、中３正月合宿でいつもよりもハードに問題演習をしたり、第３回基礎学力テストに向けて傾向把握や得点源の確保のための作戦を立てたりしましたね。高校進路を具体的に決定するための大切なテストに全力で挑めるよう、しっかりと心や体の準備をしておきましょう。私達は全力で皆さんを応援していますからね！

そして新中１生（現小６生）の皆さん、中学受験に向けて本当に精一杯頑張ってくれました。受験が終わったあとは、また新たな気持ちで、今度は中学生に向けての準備を楽しくしていきましょう。１月～３月の春休みまでの期間に、中１生で学習する英語・数学の骨組みを先に仕上げていく勉強を進めていきます。きっと楽しく、有意義な先取り学習ができると思います。ぜひ楽しみにしておいて下さいね。

最後に新年のメッセージとして、中学生・現小６生（新中１生）の皆さんにお伝えしたいことがあります。それは、「自分自身で積み上げた努力は絶対に実る！」ということです。皆さんの人生はまだまだこれからです。何もしなければ時間はどんどん過ぎていくだけですね。その中で自分がどうすればいいか、どうしたいかを真面目に考えていく必要はあるでしょう。しかし、時にはなかなかそのような心境になれない時もありますね。そういうときは、思い切り気晴らしをしてもいいのですよ。ただ長すぎてはいけませんが・・・。心と体をリフレッシュしながら、新年度に向けて先取り学習を進めていきましょう。先取りが人生の勝利を引き寄せるのです。それでは、精一杯の君になれ！

（工藤先生）

勝負の1月

新年あけましておめでとうございます。皆さんはいいお正月を過ごせたでしょうか。お正月３が日もアッという間に過ぎ去り、いよいよ小６生にとっての受験が本格始動しますね。

旧年中に文理中学校の入試や合格発表はすでに実施済みですが、ここから県立城ノ内中等教育学校や鳴門教育大附属中学校の入試が目前に迫っています。冬講で懸命に演習したこと、カウントダウン正月合宿で実践問題を全力でやったこと、面接の模擬練習を時間をかけて積み上げたことなど、今まで努力し続けたものすべてを胸に、入試に臨んでいきましょう。徳島第一ゼミの小６生の健闘を心から祈っています。当日試験会場で会いましょう!!

頑張れ、力の限り!!

（竹田先生）

飛躍の年に！

あけましておめでとうございます。新しい一年が始まりました。新年は、これまでの努力を土台にして、次のステージへ進む絶好のタイミングです。今年は「飛躍」を意識しながら、一歩一歩を大切にしていきましょう。

今年の干支は「午（うま）」です。馬は力強く大地を蹴り、前へ前へと進む動物です。そして、助走をつけることで、大きく跳ぶことができます。学習においても同じで、これまで積み重ねてきた基礎があるからこそ、成績や理解力の“飛躍”が生まれます。

「なかなか結果が出ない」と感じていた人も、決して無駄な時間を過ごしてきたわけではありません。漢字練習、計算問題、英単語の暗記、やり直しノート。その一つ一つが助走となり、ある日突然、「分かる」「解ける」「できる」という瞬間につながります。その瞬間こそが、飛躍の始まりです。

（日下先生）

ゼミ中学部だより

新しい年を迎えました。しかし最難関に挑む皆さんにとって、一月は気持ちを緩めるための区切りではありません。むしろここからが、本当の意味での勝負の始まりです。成績上位にいることは、これまでの努力の結果として評価されるべきですが、それだけで合格が保証されることはありません。現在の点数や順位だけでなく、その先でも伸び続けられる力を持っているかどうかが求められます。

一月は、周囲との差が確実に広がる時期です。冬期講習が終わり、学校生活も日常に戻る中で、多くの生徒は「維持」に入りがちになります。しかし、その小さな油断の積み重ねが、後になって大きな差として現れます。頂点を目指すのであれば、常に自分の弱点と正面から向き合い、できなかった理由を曖昧にしない姿勢が求められます。

最難関に合格する生徒に、特別な才能があるわけではありません。共通しているのは、思考を止めない粘り強さと、自分に対する厳しさです。一問を解いて終わりにするのではなく、なぜその発想に至ったのか、他の解き方はないのか、条件が変わったらどうなるのかまで考え抜きます。答えを覚えるのではなく、考え方を自分のものにすることが重要です。その積み重ねが、入試本番の初見問題にも対応できる力を育てます。

また、成績上位にいる生徒ほど注意しなければならないのが、「分かったつもり」になることです。授業や解説を聞いて理解した気になっても、自分の力だけで再現できなければ意味がありません。本当に理解したかどうかは、何も見ずに説明できるか、時間を置いても同じように解けるかで判断する必要があります。

勉強において、楽な道を選ぶことは簡単です。得意な分野だけを繰り返せば、点数は安定し、自信も保てます。しかし、それは現状維持に過ぎません。あえて苦手分野や難問に向き合い、思うように解けない時間を経験することが必要です。「少し苦しい」「まだ足りない」と感じる負荷こそが、実力を一段引き上げます。

この一月、自分自身に問い続けてください。今の勉強は、本当に最難関の入試レベルを意識したものになっているでしょうか。今日の努力は、昨日の自分を確実に超えているでしょうか。周囲と比べて安心するのではなく、理想の自分との差を基準に行動できているでしょうか。その問いに真剣に向き合えるかどうかが、結果を左右します。

合格は、決して偶然ではありません。日々の選択と覚悟の積み重ねが、必然として結果を生みます。この一月をどう過ごすかで、見える景色は大きく変わります。本気で頂点を目指す皆さんの挑戦を、私たちは全力で支え、最後まで伴走します。

（小倉先生）

ホームルーム

12月中旬に実施したホームルームでは受験までのスケジュールを中3生から高2生まで共通して確認をしました。

高2生は残り1年間でどのような勉強をいつまでにしないといけないかという内容で夏からは過去問や類題演習をすすめていくので難関大志望者は5月末を期限にインプット「受講」を進めていってください。

中3生・高1生は共通テスト本番レベル模試での目標点の確認そして高速基礎マスターも含めて基礎力をしっかりつけていくことが大切というお話をしました。冬休みも終盤になりましたが、英単語・英熟語・英文法の修得は進んでいるでしょうか。

〇高速基礎マスター英語

①受験の土台となる基礎知識の早期完成

↓単語、熟語、文法、例文の土台が固まらなければ、その上にある構文、読解といった応用力を積み上げることができません。

②知識の定着　繰り返しトレーニング

↓短期集中で暗記しても忘れやすいため、定期的なトレーニングを通じて知識を確実なものにしてください

③質＝スピードの追求　使いこなす力

↓完全修得後に成績が伸びるかどうかは「スピード」にかかっています。5分以内で修了判定テストを終わるくらいで。知識を「使いこなす」レベルに到達するための訓練です。

共通テスト体験受験まであとわずかになりました。目標得点を突破できるよう頑張ってください。

（伊勢先生）

共通テスト体験受験

大学入学共通テストを前に、高校生が本番と同じ問題に挑む東進の「共通テスト体験受験」。この模試を最大限に活用する鍵は、点数そのものよりも「受け方」と「受けた後」にあります。

まず確認しておきたいのがその目的です。体験受験の目的は、現在の実力と課題を明確にすることです。特に高1生にとって、未習範囲があるのは自然なことかもしれません。全範囲を完璧にしようとするよりも、「今の自分でどこまで通用するか」を測ることを優先してほしいと思います。

当日は、解けなかった問題の原因を意識することが大切です。知識不足なのか、時間切れなのか、問題文の処理に手間取ったのかを振り返ることで、今後の学習の方向性が見えてきます。

受験後の復習では、すべてをやり直す必要はありません。東進模試の詳細な成績表では優先的に対策をすることで大きく得点を伸ばせる「正解必須問題」がわかります。「あと一歩」の問題を重点的に見直すことが、効率的な得点力向上につながります。体験受験は合否判定の場ではなく、受験勉強を本格化させる出発点です。その活用次第で、今後の伸びは大きく変わります。共通テスト体験受験を大学受験へ向けた本格的な準備のきっかけにしましょう。

（河野先生）

受験直前期頑張る皆さんへ

受験が近づくと、「とにかくやらなきゃ」と焦る人が増えます。でも、この時期に一番もったいないのは、やっているつもりの勉強です。

まず多いのが、新しい問題集に手を出すこと。気持ちは分かりますが、直前期は「新しいこと」より、「今までやったことを確実にする」ことが大切です。いままで膨大な量の演習をしたはずです。取りこぼしがないようにすることが先決です。間違えた問題を流してしまうことが一番危険です。できない問題ができるようになるから成績が上がるわけです。「これは落とせない」という問題を一つずつ減らしていきましょう。

次に、解説を読んで終わる勉強。分かった気になっても、本番で白紙になってしまっては意味がありません。「分かる」と「出来る」は別物です。解説を読んだあとは、必ず答えを見なくても出来るようにしましょう。経験あると思いますが、その日出来たとしても数日後出来るともかぎりませんね。

受験直前期にやるべきことは、本当はシンプルです。やった問題を確実にできるように。そして、できる問題を確実に取る。今までの努力を信じてください。その努力の結晶を確実に得点につなげていきましょう。最後まで、合格をめざし努力を積み重ねていきましょう。

（齋藤先生）

成長の年

新年あけましておめでとうございます。2026年が始まりましたね。

現在、第一駅前学童ではウィンタースクール中で、子どもたちの明るい声のおかげで冬の寒さも忘れるくらいの日々です。また、第一駅前英会話では、みんながそれぞれ聞く・話す・読む・書く力がぐんと伸びており、クラスメイト同士で切磋琢磨し、常に【成長】しながらレッスンを楽しんでいます。

さて、そんな【成長】について触れていきたいと思います。この経験は子ども、大人すべての人たちにとって大切です。

成長とは、身体の成長だけではなく、経験をもとに自分の行動を振り返り、常に試行錯誤しながら自己の可能性を広げていく、わくわくできる瞬間だと思います。失敗しちゃった、もうやめたというようにすぐに諦めてしまったことはないでしょうか。そんな時こそチャンスです。失敗することは大事で、失敗があるからこそ学びがたくさんあります。学びがあるからこそ成長できるのです。

諦めずに次へと立ち向かう力を伸ばし、夢に向かう楽しさを経験できるように、しっかりとサポートさせていただきます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

（第一駅前学童）
（第一駅前英会話）

2026年 1月の予定

1月
4日（日）　冬期学力テスト(小6はありません)
8日（木）　３学期通常授業開始
12日(月)　新年度保護者会　14：00～15：00
（対象：新小4ゼミ・四谷の保護者様）
（対象：第一駅前学童の保護者様）
13日(火)～22日(木)
個人面談⇒お電話でご予約下さい
14日(水)　共通テスト激励会(東進)
18日(土)・19日(日)
共通テスト体験授業(東進)
20日(火)
ハイブリッドコース選抜テスト17:00～19:10
（対象：現小６）
ハイブリッドコース保護者会19：30～20：30
24日(土)
新小4 クラス分けテスト
英検　5級～2級
25日(日)
現小４・小５公開組分けテスト(四谷)
全国国公立大　記述模試(東進)
24日(土)・25日(日)
東大・京大本番レベル模試(東進)
31日(土)　漢検　10級～2級

がんばれ東進生!!

共通テストが、いよいよ目前に迫ってきました。
これまで、模試の結果に一喜一憂したり、
過去問を解いては思うように点が伸びず、壁にぶつかったりと、
決して楽ではない時間を何度も乗り越えてきたことでしょう。
それでも積み重ねてきた時間と努力は、決して無駄ではありません。
どうか気負いすぎず、しかしこれまで通り全力で頑張ってきてくださいね！

言葉の力

NO.255

「優駿」

新しい年の朝
心に白いスタートライン
過去を背に
未来を前に
一歩踏み出した君は
もう走り始めている
飛躍の二〇二六年が
動き始める

新年のご挨拶

保護者様、生徒の皆さん

新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は、学習活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。
生徒の皆さんが日々努力を重ね、目標に向かって取り組む姿に、私たち職員一同も多くの励ましをいただいた1年でした。

2026年も徳島第一ゼミは皆様に満足していただける充実した授業を提供できるよう、より一層精進して参りますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。